

重点プロジェクト			2	地域包括ケア体制の実現						
推進するプロジェクト			①	区民の多様な課題を受け止め解決につなげる体制をつくります						
重点ポイント			支援を必要とする人への相談・コーディネート体制を充実します							
関連成果指標（施策28、33）		目標値 （2025年度）	初期値 （該当年度）	2023 （該当年度）	2024 （該当年度）	2025 （該当年度）	投入資源	2023年度	2024年度	2025年度
①	アウトリーチチームが対応して適切な支援につなげた割合 【中野区資料】	85%	78.4% （2020年度）	78.1% （2023年度）	61.7% （2024年度）	55.2% （2025年度）	事業費（千円）	449,117	615,001	705,720
②	「何かあったときに相談する相手がいる」と思う高齢者の割合 【高齢福祉・介護保険サービス意向調査】	55%	51.7% （2020年度）	—	—	55.6% （2025年度）	投入労働量（人）	9.46	9.89	10.15
分析	良かった点 その要因	・CSW導入による相談件数の増加に加え、アウトリーチチームとCSWの連携構築により、分野横断で「把握から支援」までの導線が一定程度形成された。 ・孤独・孤立対策や若者・障害分野等の取組が重なり、多様な対象に接点が広がった。ケース検討会等の実施により、共通の課題認識と協働が進んだ。 ・拠点整備と多機関連携により相談の受け皿は拡充しており、体制は確保され、重点配分の方方向性は妥当であった。								
	十分でなかった点 その要因	・多機関連携は進んでいるが、アウトリーチチームが対応する案件は近年複雑化しており、複数の課題を抱える世帯への支援が増加している。こうしたケースでは、課題ごとに関係する複数の分野・機関との連携や調整が必要となり、世帯が抱えるすべての課題について適切な支援につなげるまでに時間を要する傾向がある。このことが、2023年度以降の成果指標の低下の一因となったと考えられる。 ・アウトリーチチームやCSWの相談支援について、関係機関も含めて理解が広がっていない状況にある。								
今後の戦略	・複雑化・複合化する支援ニーズに対応するため、CSWを鷺宮圏域に加え、令和8年度から南部圏域に配置した。今後、計画的な配置検討を進めるとともに役割の検証を進めながら人材基盤の強化を図る。 ・子どもから高齢者まで複数世代が課題を抱える複雑化・複合化ケースが増加しているため、子ども、若者、障害、高齢者等の各分野の支援機関が連携しやすい体制づくりを進めていく。 ・アウトリーチチームやCSWの相談支援について、具体的な対応事例の周知に努め、地域での認知度を高めることにより、民間・地域団体を含めたネットワーク型支援を更に発展させていく。 ・すこやか福祉センターと地域包括支援センターの圏域見直しと新設を進め、地域住民にとって身近な相談支援体制を充実させる。									
	新規・拡充事業					縮小・廃止事業				
	アウトリーチ活動の推進、要支援者早期把握、すこやか福祉センター整備・運営									

※上段の重点ポイントの投入資源の値は、下段の主な事業の数値から重複を除いた額のため、下段の合計値と一致しない場合があります。

主な事業	決算額（事業費ベース）			投入労働量（人）			実績①				効果①				実績②				効果②				次年度の方方向性			所管課
	2023年度	2024年度	2025年度	2023年度	2024年度	2025年度	指標	2023年度	2024年度	2025年度	指標	2023年度	2024年度	2025年度	指標	2023年度	2024年度	2025年度	指標	2023年度	2024年度	2025年度	区分	理由（なぜ）	内容 （何をどのように）	
アウトリーチ活動等を通じた支援に結びつかない潜在的な要支援者の発見、適切な相談支援への接続、継続的な見守り・支援																										
アウトリーチ活動の推進 （施策27）	630	117	16,238	0.61	0.61	0.62	アウトリーチ チームが把握 している要支 援者数（人）	434	431	417	アウトリーチ チームが把握 している要支 援者数のうち、年齢0～49 歳の人数（人）	30	26	44	支援体制強化 に向けたアウ トリーチチーム とCSWの会議 （回）	0	0	97	伴走支援回数 （回）（CSWと の連携）	0	0	127	拡充	従来からのアウトリーチチームに加え、伴走支援及び団体支援を強化するために、CSWを配置していく必要がある。	CSW配置圏域を拡大する。	すこやか福祉センター
アウトリーチ活動の推進 （施策28）	630	117	16,238	4.35	4.35	4.57	アウトリーチ チームが把握 している要支 援者数（人）	434	431	417	アウトリーチ チームが把握 している要支 援者数の中 心、高齢者の 人数（人）	358	314	286	支援体制強化 に向けたアウ トリーチチーム とCSWの会議 （回）	0	0	97	伴走支援回数 （回）（CSWと の連携）	0	0	127	拡充	従来からのアウトリーチチームに加え、伴走支援及び団体支援を強化するために、CSWを配置していく必要がある。	CSW配置圏域を拡大する。	地域包括ケア推進課 すこやか福祉センター
アウトリーチ活動の推進 （施策33、施策34）	630	117	16,238	0.61	0.61	0.62	アウトリーチ チームが把握 している要支 援者数（人）	434	431	417	適切な支援に つなげた要支 援者数（人）	339	266	230	支援体制強化 に向けたアウ トリーチチーム とCSWの会議 （回）	0	0	97	伴走支援回数 （回）（CSWと の連携）	0	0	127	拡充	従来からのアウトリーチチームに加え、伴走支援及び団体支援を強化するために、CSWを配置していく必要がある。	CSW配置圏域を拡大する。	すこやか福祉センター
要支援者早期把握 （施策33）	630	117	16,238	0.62	0.62	0.65	アウトリーチ チームが把握 している要支 援者数（人）	434	431	417	適切な支援に つなげた要支 援者数（人）	339	266	230	支援体制強化 に向けたアウ トリーチチーム とCSWの会議 （回）	0	0	97	伴走支援回数 （回）（CSWと の連携）	0	0	127	拡充	従来からのアウトリーチチームに加え、伴走支援及び団体支援を強化するために、CSWを配置していく必要がある。	CSW配置圏域を拡大する。	地域包括ケア推進課
孤独・孤立対策の推進	278	567	2,641	0.05	0.35	0.35	地域包括ケア 推進会議風 独・孤立対策 部会の実施回 数（回）	—	2	2	NIC・事業者の 地域包括ケア 推進会議オブ ザーバー参加 者数（人）	—	38	47	フォーラム参 加者延べ人数 （人）	—	151	200	孤独・孤立 フォーラム参 加者アンケート で満足・非常 に満足と回答 した人の割合 （％）	—	92	91	継続	—	—	地域包括ケア推進課
ひきこもり、精神保健相談など、複合的な課題や専門性が要求される課題に対する子ども・若者支援センターやすこやか福祉センターなどの相談支援機関の連携強化																										
ひきこもり等相談支援事 業	17,615	16,582	18,493	0.05	0.05	0.05	新規のひきこ もり相談者数 （人）（委託 事業分）	62	50	68	当事者の居場 所延べ参加者 数（人）	86	96	80	ひきこもりサ ポーター延べ 登録者数（人）	18	33	46	居場所におけ るひきこもり サポーターの 延べ参加者数 （人）	8	3	13	継続	—	—	地域包括ケア推進課
ひきこもり等相談支援事 業	0	0	0	0.55	0.67	0.68	すこやか福祉 センターひき こもり相談対 応者数（人） （2025年度 は、1月末現 在）	69	85	86	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	継続	—	—	すこやか福祉センター

主な事業	決算額（事業費ベース）			投入労働量（人）			実績①			効果①			実績②			効果②			次年度の方向性			所管課					
	2023年度	2024年度	2025年度	2023年度	2024年度	2025年度	指標	2023年度	2024年度	2025年度	指標	2023年度	2024年度	2025年度	指標	2023年度	2024年度	2025年度	指標	2023年度	2024年度		2025年度	区分	理由（なぜ）	内容（何をどのように）	
ヤングケアラー支援	10,283	13,809	13,052	0.03	0.03	0.03	ヤングケアラー部会・連絡会開催回数（回）	3	2	2	関係機関からヤングケアラーコーディネーターへつながった件数	2	4	2	ケアラー・ヤングケアラーLINE相談に相談があった件数（件）	—	4	5	相談があった件数のうち、18歳未満のヤングケアラーと思われる相談の件数（件）	—	0	1	継続	—	—	子ども・若者支援課	
より身近な地域で専門的な相談支援を受けられる体制の整備とそれに伴うすこやか福祉センター及び地域包括支援センター圏域の再編																											
すこやか福祉センター整備・運営	5,584	6,303	6,674	0.05	0.05	0.05	施設の改修・営繕件数（件）	33	31	15	施設整備予定地の利用 実績（人）（利用人数）	1,504	1,328	1,389	—	—	—	—	—	—	—	—	—	拡充	北部すこやか福祉センターの建て替え計画を進める必要があるため。	基本方針の策定に向けて、移転整備用地及び仮設用地の諸条件に係る調査を実施する。	地域活動推進課
地域包括支援センター整備・運営	250,908	412,157	430,015	1.00	1.00	1.00	高齢者相談別延件数（件）	86,308	87,948	101,981	利用者アンケートで職員の対応が迅速だったと回答した割合（％）	89	95	94	包括が開催したケアマネとのランチミーティングの回数（回）	78	81	76	ケアマネが信頼できる包括があると回答した割合（％）	—	—	68	継続（改善）	一部のセンターの担当区域が広いことから、区民のセンターへのアクセスが不便になっているため。	地域包括支援センターを新設する。	地域包括ケア推進課	
障害者相談支援事業	161,929	165,115	169,889	1.55	1.55	1.55	障害者相談支援事業所の対応実人数（人）	18,835	19,847	20,118	障害者相談支援事業所の対応延べ人数（人）	46,474	50,215	48,288	障害者相談支援事業所利用者アンケート回答件数（件）（実施期間1か月）	228	212	259	障害者相談支援事業所利用者アンケート満足割合（％）（職員の対応「良好」）	91	88	91	継続	—	—	すこやか福祉センター	